

# 環境哲学・

The Research Institute for Environmental Philosophy and  
Philosophical Anthropology

# 人間学研究所



時間	15:00 ▼ 16:30	場所	大阪府立大学 I-site なんば	参加費	Part1・Part2 各 1,000円	定員	各70名
----	---------------------	----	-------------------------	-----	----------------------------	----	------

詳細は  
裏面へ

## Part 1

平成29年1月6日(金)

「環境哲学とは何か?——『環境危機』・『持続可能性』を“哲学”する」

講師: 上柿 崇英 (大阪府立大学環境哲学・人間学研究所 研究員 / 人間社会システム科学研究科 准教授)

## Part 2

平成29年1月20日(金)

「人の出生の恣意性 | 生命をめぐる倫理と科学技術の狭間で」

講師: 山本 由美子 (大阪府立大学環境哲学・人間学研究所 研究員 / 人間社会システム科学研究科 テニユア・トラック講師)

大阪府立大学には分野・部局横断型の先駆的で挑戦的な研究を行う、下記の研究所があり、これらを総称して21世紀科学研究所と呼んでいます。セミナーでは、参加者の皆さまに、本学の教育研究活動への理解や興味を深めていただくため、各研究所の最先端の研究や多彩な取り組みをわかりやすく紹介します。

(▽2016年4月現在)

ライフサイエンス	ライブセルイメージング研究所 食品安全科学研究センター ケミカルバイオロジー研究所 バイオメディカルファシリティーセンター バイオ・メディカル・フォーラム 微生物制御研究センター
医療・看護	看護経営システム研究所 看護システム先端技術研究所 看護教育教材開発研究センター
健康科学	公衆栄養実践研究センター 高齢期健康総合研究センター
社会システム	観光産業戦略研究所 サービスサイエンス研究センター 統計数理・リスクアセスメント研究センター 教育福祉研究センター ダイバーシティ研究環境研究所
地域・コミュニティ 生活支援	ソーシャルワーク開発研究所 コミュニティデザイン研究所 COC 研究所 スクールソーシャルワーク評価支援研究所
連携 社会	産学協同高度人材育成センター 異分野連携推進研究所
思想・文化	大学史編纂研究所 説話文学美術研究所 環境哲学・人間学研究所 日本語・日本語教育研究所 研究公正インスティテュート
情報	文書解析・知識科学研究所 情報システム研究センター
フロンティア	構造ダイナミクス研究所 ミリ波テラヘルツ波研究所 量子ビーム誘起反応科学研究所 宇宙科学技術研究センター 最先端船舶技術開発研究所
ものづくり技術	分子エレクトロニックデバイス研究所 マイクロアクターシステム研究所 機能性有機材料開発研究センター ものづくりイノベーション研究所 微小めっき研究センター 総合安全科学研究所
環境・エネルギー	資源循環工学研究所 エコロジー研究所 次世代電動車両開発研究センター 環境教育研究センター
ナノ・材料	ナノファブリケーション研究所 信頼性計測科学研究所 ナノ科学・材料研究センター ナノ・メソ材料科学国際共同研究所 ナノアライアンスセンター

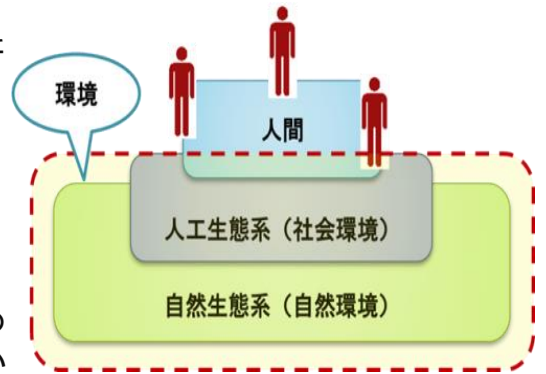
1月6日(金)

講師 上柿崇英 准教授



近年よく「環境危機」や「持続可能性」といった言葉を耳にするとおぼやかし。世界はさまざまな問題を抱え、時代はターニングポイントを迎えているとも言われます。

しかしそうした問題以前に、そもそも「人間」とは、いかなる存在なのでしょう。そして20万年の人間の歴史の中で、私たちが生きる現代とはいかなる時代として位置づけることができるのでしょうか。ここでは、人間の本質を問う「哲学」の視点から、「環境危機」や「持続可能性」について多角的に考えます。



自然生態系(自然環境)の表層に人工生態系(社会環境)を形成し、その「二重の環境」の中で人間は存在しています。

1月20日(金)

講師 山本由美子 テニユア・トラック講師



たとえば世界保健機関(WHO)は、胎児が生命の徴候を示して母胎外に産み出された場合を出生と定義し、その存在を新生児と呼んでいます。WHOは他方で、その産み出される存在を救急蘇生の対象とどうかについて、一定の妊娠期間や胎児体重を満たすという基準を設けています。目の前に生きて在る(ある)存在は、その事実よりも計測可能な数値的基準によって処遇が左右されるのです。本講座では人の出生に注目し、受精から誕生後にわたり生命それ自体を「合理的」に選別することになる法的・医学的しくみとその問題を概観します。そこで問われるはずの倫理が、生命をめぐる科学技術の推進にどのように援用されていくのかについて皆様と考えたいと思っています。

生命 Bio・Life  
Ethics 倫理  
Technology 技術 Society 社会

生命をめぐる技術と社会  
および倫理の関係

どなたでもご参加いただけます

参加申し込みは  
往復はがき  
または  
Eメール

Part1・Part2  
各  
1,000円

各70名  
応募多数の場合は  
抽選となります

問合せ:TEL 072-254-9942 (地域連携室)

往復はがき(お1人様1通)又はメールに

- ①氏名(ふりがな) ②年齢 ③郵便番号・住所
- ④電話番号 ⑤このチラシの入手先
- ⑥希望する講座の日(両日可)をご記入の上、下記宛先へ。

【12月26日(月)締切】

受講票は、12月19日(月)頃から随時発送します。



〒599-8531 堺市中央区園町1番1号

大阪府立大学C5棟 地域連携室  
「21セミナー環境」係

21kan@ao.osakafu-u.ac.jp

件名に「21セミナー環境」を入れてください。

※半角英数 ※携帯メール不可



高度研究型大学～世界に翔く地域の信頼拠点～

※お申し込みの際の個人情報は、応募後の事務連絡、統計資料等の作成及び本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

開/催/予/定

平成29年4月、5月、6月企画！！  
決まり次第ホームページに  
アップいたします。

大阪府立大学 I-site なんば(南海なんば第1ビル2階)  
南海電鉄難波駅なんばパークス方面出口より約800m /  
地下鉄なんば駅(御堂筋線)5号出口より約1000m / 地下鉄  
大国町駅(御堂筋線・四つ橋線)1号出口より約450m / 地  
下鉄恵比須町駅(堺筋線)1-B 出口より約450m

